

# 社会科学学習指導案

日 時 平成16年11月10日(木)  
学 級 3年1組(男子16名女子17名計33名)  
指導者 教 諭 三 浦 正 行(T1)  
講 師 千 葉 巳 樹(T2)  
教 諭 熊 谷 正 也(T3)

1 主題名 第3章 わたしたちの暮らしと経済 第1節 暮らしを支える経済のしくみ

2 主題について

(1) 教材観

本主題は、学習指導要領では公民的分野の2、内容(2)のAにおいて、「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の動きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産の仕組みのあらましや金融の働きについて理解させるとともに、社会における企業の役割と社会的責任について考えさせる。」を受けて設定した。したがって、この単元によって設定した内容は、日常営まれる経済活動について取扱う。企業と家計は経済活動の単位であり、家計から企業へ労働力を提供し、賃金を得て生活するなど密接に関連している。将来、生徒が労働者としてこのような立場に立つことを考えれば、生徒にとっては身近な内容であるともいえる。そして、本主題の学習においては、経済活動を動かす柱として消費・金融・流通・生産の4つの要素を取り上げ、この4つの要素がどのようにかかわり合いながら、経済の流れが生まれるのかを整理しつつ、その中で家計・企業、さらには貨幣・価格・貯蓄などの役割や仕組みについて理解を図ることをおもな学習内容としている。

特に、本時指導内容の「日本の産業の姿」では、発展的な学習の要素を取り入れた。中学校社会科においては、一人一人の生徒の社会的事象に対する課題意識や興味・関心などに基づいて、課題を設定し、追究、考察する学習を通して、学び方や社会事象に対する見方・考え方を身に付けさせることが重要である。発展的な内容として、次のようなもの考えた。

各分野で選択的に扱われている学習の対象や具体的事例のうち、全体で扱ったもの以外のもの  
各分野で扱う内容の範囲内であるが、特に質的な高まりや深まりをねらいとするもの

学習指導要領において各分野の内容として示されていない、さらに進んだ内容を扱うもの

発展的な学習の指導体制として、教師同士、外部の人材とのTTにより、生徒の学習の状況や興味・関心に応じて個別に発展的な学習に取り組みさせることが考えられる。その際、生徒の実態や教材等を踏まえ、習熟の程度に応じた学習やグループ別学習として指導することも考えられる。TTによる指導を行うことは、発展的な学習と平行して補充的な学習を行うことを容易にすると思われる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、社会科に対する興味・関心については、生徒個々に多少の差はあるものの比較的活発に取り組む生徒が多い。ニュースや新聞報道に対する関心が高い者が多く、授業においても発問に対して元気に発言する姿が見られる。

そこで、授業にポスターセッション的な形式を取り入れ、他の意見をかかわらせたい。他の意見を聞くということは、自分の考えを比較検討させ、葛藤させることにより、自分の足りないところを補おうとし、考えを広めたり、深めたりすることにつながるからである。自分が他に伝えることは、相手にも葛藤と自己補足を促し、考えの広がりや深まりにつながるからである。このような指導過程を経ることによって、生徒は学習した基礎・基本の内容を自分の意見のよりどころとして何度も使い、自分にとって意味のある切実なこととなる。以上のことから、本主題において、生徒の

中に定着しつつある多様な見方・考え方をより確かなものにさせるとともに、世界と日本の両方の視点から調べさせることにより、自分と社会とのかかわりを実感させたい。

### 3 「基礎・基本の確かな定着」を実現するための指導構想

本校の研究主題「基礎・基本の確かな定着を図る指導方法の改善」を踏まえ、社会科では研究目標を「現代社会において、生涯にわたり問題意識を持ち続けていくことができる生徒の育成」を教科研究目標とした。授業で提示する学習課題に対しては、現実社会と結びついた学習課題を提示することで、そこで学ぶさまざまな知識が、課題のもとに結びつきあい、ばらばらに理解されやすい一つの知識を、全体としての意味をもたせることに努めている。学習課題を構成する概念を抽出し、それに対する生徒の意識や認識を踏まえた上で、現実社会での具体的状況の中でのその概念の意味を問うこと、そして、得られた概念のもとに、現実には生じている社会問題の理解と解決へ向けての方向性を考えていくことが、現実社会とのつながりを重視しながら、自覚や態度と結びついた知識を獲得していくのに必要な基礎・基本と考える。

本単元では、問題を解決するために必要な情報を調べ、観察し、得た情報を活用する能力と調べたことをまとめ、発表する表現力としての情報活用能力の育成に重点を置いて指導する。

### 4 単元の目標

- (1) 日本の産業の特色についての発表会を通して、級友の発表について進んで意見を述べようとするとともに、新たな課題をもとうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 日本の産業の特色についての発表会から、自分の発表と級友の発表を比較することによって、自分の考えを深めることができる。(思考・判断)
- (3) 明確なねらいのもとに日本の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用できる。また、追究・考察した過程を段階的に明示し、かつ、結果を図表化して分かりやすくまとめ、説明することができる。(技能・表現)
- (4) 経済活動の意義、市場経済の考え方、生産の仕組みのあらましを、身近な生活と結びつけて的確に説明することができる。(知識・理解)

### 5 題材の指導・評価計画(11時間扱い:本時10/11時間)

時間	学習内容	評価規準				評価方法
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
1	オリエンテーション テーマ決定	それぞれのテーマについて関心を持つようとしている。			既習事項について書き込みができる。	プリントへの記入
2	テーマについて 班ごと話し合い (分担確認・調査方法検討)	役割を決め、仕事に取りかかることができる。	調査・検証方法について考えることができる。			観察
3	調査活動1	分担した項目について、調査を進めることができる。	分担し、筋道立てて調査することができる。			観察
4	調査活動2	分担した項目について、調査を進めることができる。	分担し、筋道立てて調査することができる。			
5	レポート作成 発表資料作成1			構成を考えながらまとめるこ		個人レポート内容

				とができる。	
6	レポート作成 発表資料作成 2			構成を考えながらまとめることができる。	班レポート内容
7	発表資料原稿作成 1		分担し調査た内容同士のつながりを考えることができる。	レポートについて、問題点等を考察できる。	発表原稿 提示資料
8	発表資料原稿作成 2		分担し調査た内容同士のつながりを考えることができる。	レポートについて、問題点等を考察できる。	
9	発表会 1	他の班の発表を真剣に聞くことができる。		調査した内容をわかりやすく説明できる。	観察 自己評価
10	発表会 2 (本時)	他の班の発表を真剣に聞くことができる。		調査した内容をわかりやすく説明できる。	観察 自己評価
11	まとめ				発表内容から、問題を解くことができる。 小テスト

## 6 本時の指導

(1) 主 題 日本の産業の姿 - 外国とのつながりを通して - 『発表会 2』

(2) 目 標

観 点	具 体 の 評 価 規 準		「努力を要する」生徒への具体的支援
	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	
関心・意欲 態度	他の班の発表について、疑問を持ち説明を聞こうとしている。	他の班の発表について、真剣に聞こうとしている。	集中するポイントを明確にさせるアドバイスを行う。
技能・表現	自分の班の調査した内容について、図や資料を活用し説明することができる。	自分の班の調査した内容について、説明することができる。	発表原稿をしっかりと読むことを意識させるアドバイスを与える。

(3) 構 想

生徒は、今まで「調べ学習」を地理的分野の時間における都道府県調べや国調べ、総合的な学習の「環境」「職業」と経験してきた。そこで、本主題では、グループにより課題設定を違えた課題追究の学習を行うこととした。今までの「まとめる」「個人での発表」の経験を生かし、ポスターセッション方式を取り入れ、まとめ・発表・質問を行う。このような学習を行うことで、調査内容や調査して得た知識の共有化、2回の発表会の実施により、本校社会科がねらう基礎・基本のより確かな定着と社会事象を多面的・多角的にとらえる一助としたい。また、それぞれの立場に立つことにより、表現するための技能も身につけさせたい。

(4) 展開

段階	過程	学習内容と活動	活動への支援と指導上の留意点			学習形態 資料・教具	
			T1の動き	T2の動き	T3の動き		
導入 3分	課題 確認	1 前時の学習を想起する。	全体指導	前時の活動の様子を紹介	観察	・前時の活動の様子を紹介し、これからの授業への意欲を高める。	一斉指導
		2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">日本の産業の姿を外国のとのつながりを通して調べたことを発表しよう。</div>	課題確認	観察	課題の提示		
展開 35分	課題 追究	3 本時の活動を確認する。	全体指導	プリントの配布	プリントの配布	・発表者、聞く側のマナーの確認  ・声の大きさ発表の態度などに留意させ、発表内容が確実に伝わるようにする。  ・同じ発表の繰り返しで発表者がマンネリ化しないように援助を行う。	ポスターセッション  レポート集・資料
		4 全グループが一斉にレポートを発表する。  1班...第2次産業 製造業 2班...第1次産業 水産業 3班...第3次産業 IT情報産業 4班...第2次産業 鉱工業 5班...第3次産業 商業 6班...第1次産業 農林業	発表者への指導・援助(1・2班)  発表時間の測定と周知	発表者の指導・援助(3・4班)  ローテーションの指示	発表者への指導・援助(5・6班)  ローテーションの指示		
		5 発表に対してグループごとに質疑応答を行う。  合図によって聞く側が移動し発表を再開する。  4・5を繰り返す。	話し合いでの指導・援助  質問に対する回答へのアドバイス	話し合いでの指導・援助  質問に対する回答へのアドバイス	話し合いでの指導・援助  質問に対する回答へのアドバイス	・話し合いが活発になるように指導・援助を行う。  ・移動がスムーズにいくように指導する。	グループ学習
終 結 12分	まとめ	6 本時の学習のまとめを行う。 7 評価を行う。 8 次時の学習内容を確認する。	全体指導  次時の学習内容の方向性を示す	グループ観察と援助	グループ観察と援助	・発表や取り組みを評価し、励ますようにする。	グループ学習  グループ学習  一斉指導

# 学習テーマ

## 「日本の産業の姿」 - 外国とのつながりを通して -

### 産業

第1次産業・・・生き物を相手にする	農林業
第2次産業・・・「もの」を相手にする	水産業 鉱工業 建設業
第3次産業・・・「ひと」を相手にする	製造業 商業（外食産業含む） サービス業 IT情報産業

6つのテーマを設定して、各班で調べ発表する。  
発表形式はポスターセッション方式とする。  
各班、発表者グループと質問者グループに分割し、発表会は2時間として、1時間は説明・発表、1時間は質問とする。

<日本の現状>を知ろう！（いままでの学習で学んだことから）

日本・・・経済大国である。（\_\_\_\_\_は世界2位）  
貿易立国である。（原材料を輸入し製品を輸出する\_\_\_\_\_貿易）  
資源が乏しい国 外国からの輸入がないと成り立たない。

国際社会の一員として 経済摩擦・貿易摩擦を起こしている現状  
FTA（自由貿易協定）の件

資本の海外移出 複数の国で経済活動を展開するの \_\_\_\_\_ の登場  
産業の空洞化

### 学習計画

1時間目	オリエンテーション	テーマ決定
2時間目	テーマについて班ごと話し合い（分担確認・調査方法検討）	
3時間目	調査活動	1
4時間目	調査活動	2
5時間目	レポート作成・発表資料作成	1
6時間目	レポート作成・発表資料作成	2
7時間目	発表資料原稿作成	1
8時間目	発表資料原稿作成	2
9時間目	発表会	1
10時間目	発表会	2
11時間目	知識の共有（小テストの実施）	

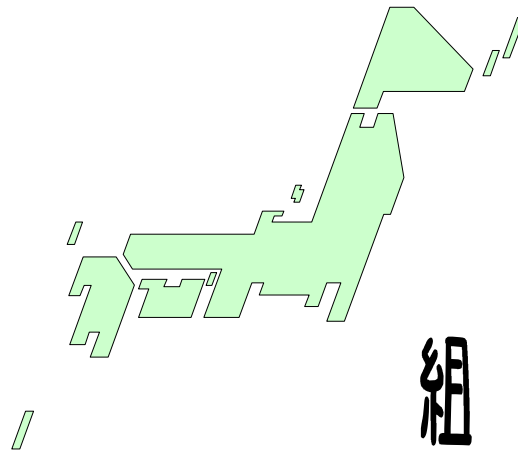
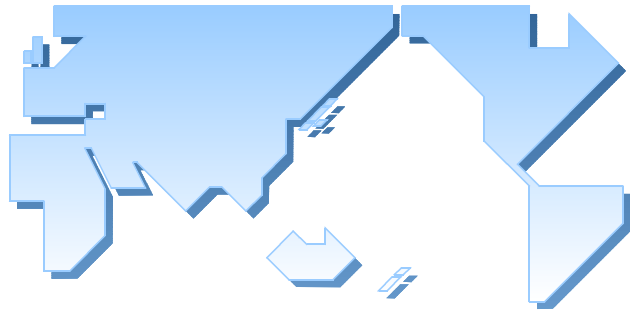
現状の把握・・・新聞、インターネット・図書室利用等  
外国との関わり（総合の時間とタイアップ）  
各班

発表会に向けて 模造紙にまとめる（3枚程度）  
発表原稿の準備（4分程度に納めること） 短くならない  
レポートの準備（模造紙以外の資料）

これからの取り組み、提言を入れること

# 3年社会科

# ワークシヨツフ。資料集



組番氏名

「日本の産業の姿」 - 外国とのつながりを通して -

3年組班

班のテーマ 「 \_\_\_\_\_ 」

4 データ等

1 テーマ設定の理由

2 調査の方法・計画・分担

3 調査した内容

5 考察・提言・感想

# 1組学習発表会評価シート

組 番 氏名

---

## 1 各班の発表

	テ	ー	マ	表現（発表の仕方）			表現（内容・まとめ方）		
1班	第2次産業	製造業		A	B	C	A	B	C
2班	第1次産業	水産業		A	B	C	A	B	C
3班	第3次産業	IT情報		A	B	C	A	B	C
4班	第2次産業	鉱工業		A	B	C	A	B	C
5班	第3次産業	商業		A	B	C	A	B	C
6班	第1次産業	農林業		A	B	C	A	B	C

### 【発表の仕方】

- ・声量
- ・情報の提供
- ・はっきりと説明

### 【内容・まとめ方】

- ・テーマに沿っているか
- ・内容の深まり
- ・自分の考えが入っているか
- ・資料の準備

## 2 自分たちの班の発表

- ・適切な声量であったか …… （ 良かった まあまあ良かった 改善の必要 ）
- ・適切な情報を焦点化し提供できたか …… （ 良かった まあまあ良かった 改善の必要 ）
- ・提示した資料を十分活用できたか …… （ 良かった まあまあ良かった 改善の必要 ）

## 3 他の班の発表を聞いて、特にその内容が「分かった」班はどの班の発表ですか。またどんな点が良かった理由も書いてみよう。



# 2組学習発表会評価シート

組 番 氏名

---

## 1 各班の発表

	テ ー マ	表現（発表の仕方）			表現（内容・まとめ方）		
1班	第3次産業 IT情報	A	B	C	A	B	C
2班	第1次産業 水産業	A	B	C	A	B	C
3班	第2次産業 鉱工業	A	B	C	A	B	C
4班	第1次産業 農林業	A	B	C	A	B	C
5班	第3次産業 商業	A	B	C	A	B	C
6班	第2次産業 製造業	A	B	C	A	B	C

### 【発表の仕方】

- ・声量
- ・情報の提供
- ・はっきりと説明

### 【内容・まとめ方】

- ・テーマに沿っているか
- ・内容の深まり
- ・自分の考えが入っているか
- ・資料の準備

## 2 自分たちの班の発表

- ・適切な声量であったか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・適切な情報を焦点化し提供できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・提示した資料を十分活用できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )

## 3 他の班の発表を聞いて、特にその内容が「分かった」班はどの班の発表ですか。またどんな点が良かった理由も書いてみよう。

# 3組学習発表会評価シート

組 番 氏名

---

## 1 各班の発表

	テ ー マ		表現（発表の仕方）			表現（内容・まとめ方）		
1班	第2次産業	製造業	A	B	C	A	B	C
2班	第3次産業	商業	A	B	C	A	B	C
3班	第1次産業	農林業	A	B	C	A	B	C
4班	第1次産業	水産業	A	B	C	A	B	C
5班	第2次産業	鉱工業	A	B	C	A	B	C
6班	第3次産業	IT情報	A	B	C	A	B	C

### 【発表の仕方】

- ・声量
- ・情報の提供
- ・はっきりと説明

### 【内容・まとめ方】

- ・テーマに沿っているか
- ・内容の深まり
- ・自分の考えが入っているか
- ・資料の準備

## 2 自分たちの班の発表

- ・適切な声量であったか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・適切な情報を焦点化し提供できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・提示した資料を十分活用できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )

## 3 他の班の発表を聞いて、特にその内容が「分かった」班はどの班の発表ですか。またどんな点が良かった理由も書いてみよう。

# 4組学習発表会評価シート

組 番 氏名

---

## 1 各班の発表

	テ ー マ	表現（発表の仕方）			表現（内容・まとめ方）		
1班	第2次産業 製造業	A	B	C	A	B	C
2班	第3次産業 IT情報	A	B	C	A	B	C
3班	第3次産業 商業	A	B	C	A	B	C
4班	第1次産業 農林業	A	B	C	A	B	C
5班	第1次産業 水産業	A	B	C	A	B	C
6班	第2次産業 鉱工業	A	B	C	A	B	C

### 【発表の仕方】

- ・声量
- ・情報の提供
- ・はっきりと説明

### 【内容・まとめ方】

- ・テーマに沿っているか
- ・内容の深まり
- ・自分の考えが入っているか
- ・資料の準備

## 2 自分たちの班の発表

- ・適切な声量であったか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・適切な情報を焦点化し提供できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・提示した資料を十分活用できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )

## 3 他の班の発表を聞いて、特にその内容が「分かった」班はどの班の発表ですか。またどんな点が良かった理由も書いてみよう。

# 5組学習発表会評価シート

組 番 氏名

---

## 1 各班の発表

	テ	ー	マ	表現（発表の仕方）			表現（内容・まとめ方）		
1班	第3次産業	商業		A	B	C	A	B	C
2班	第2次産業	製造業		A	B	C	A	B	C
3班	第1次産業	農林業		A	B	C	A	B	C
4班	第1次産業	水産業		A	B	C	A	B	C
5班	第2次産業	鉱工業		A	B	C	A	B	C
6班	第3次産業	IT情報		A	B	C	A	B	C

### 【発表の仕方】

- ・声量
- ・情報の提供
- ・はっきりと説明

### 【内容・まとめ方】

- ・テーマに沿っているか
- ・内容の深まり
- ・自分の考えが入っているか
- ・資料の準備

## 2 自分たちの班の発表

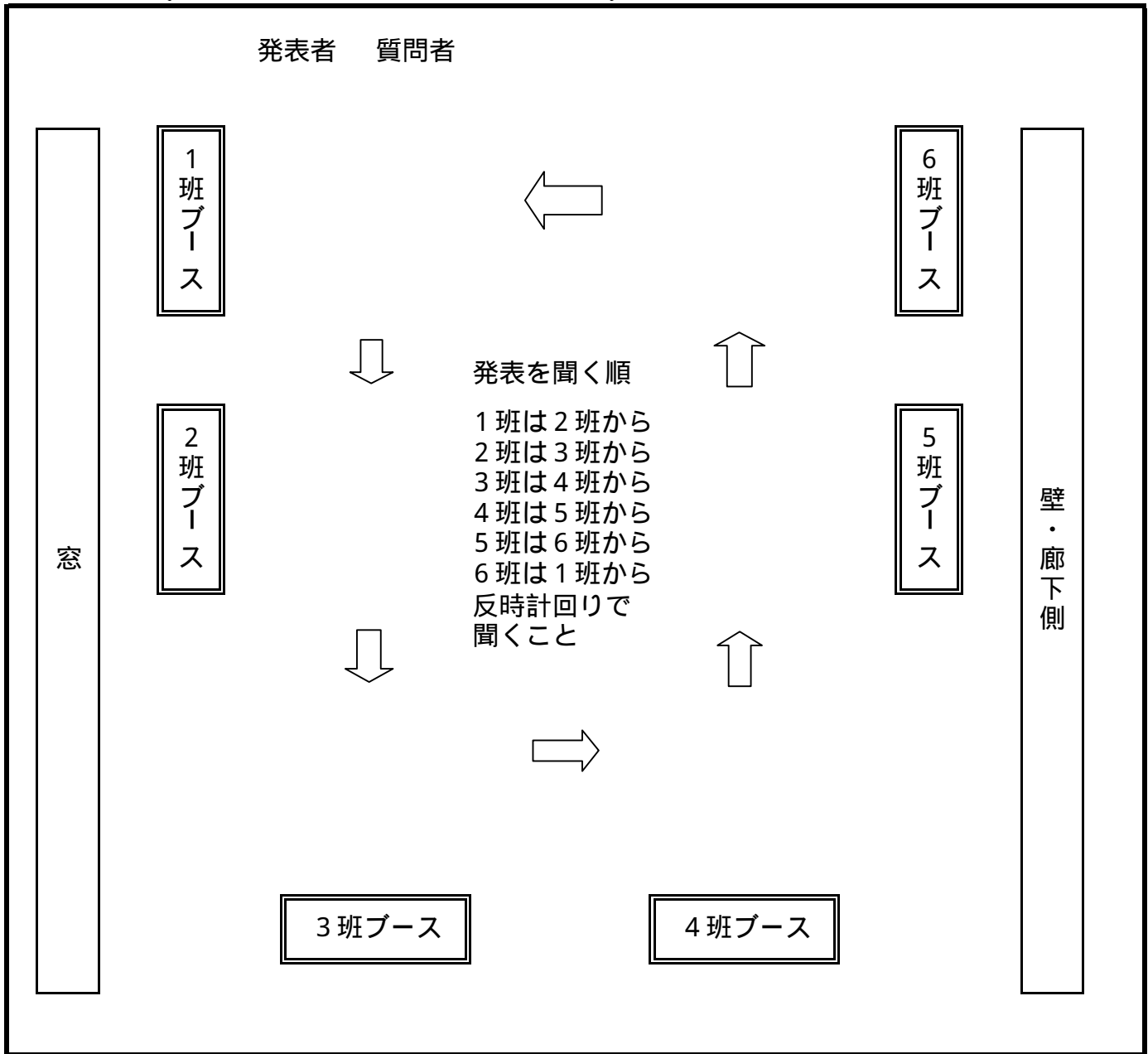
- ・適切な声量であったか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・適切な情報を焦点化し提供できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )
- ・提示した資料を十分活用できたか …… ( 良かった まあまあ良かった 改善の必要 )

## 3 他の班の発表を聞いて、特にその内容が「分かった」班はどの班の発表ですか。またどんな点が良かった理由も書いてみよう。

# 「日本の産業の姿」

発表会について

## 1 会場図（会場 花巻中学校 2階多目的ホール）



## 2 発表ルールについて

- ・ 発表時間 4分、質疑応答1分
- ・ 発表者は、資料を指し示しながら、わかりやすく説明する。（序論・本論・結論をしっかりと）
- ・ 発表を聞く人は重要語句に注意し、質問を考えながら聞く。移動をする前に各班の発表を評価する。
- ・ 発表者の持ち物は、発表に必要なもの。（指示棒、模造紙等）
- ・ 発表を聞く人は、筆記用具、レポート集、学習評価シート  
自分の班の発表は聞かない。次時は質問者が発表者となるので他の班の発表を参考にすること。

< 提出用 >

質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


< 本人控 >

質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ


質問用紙 ( ) 班から  
( ) 班へ
